

報 広 仙 施

仙台防衛施設局

総務部広報官編集

仙台市宮城野区五輪1-3-15

仙台第3合同庁舎

電話 022-297-8208

<http://www.mod.go.jp/dfab/sendai/>



写真：青葉まつり

目次

- ・平成十九年度防衛施設周辺対策補助金等実施計画 2頁
- ・平成十九年度防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する連絡会議の開催 2頁
- ・市街地訓練施設完成 2頁
- ・新規採用者の研修実施 3頁
- ・新規採用職員の紹介 3頁
- ・事務所だより 5頁
- ・防衛施設行政に尽力
(三沢市長、むつ市長のご逝去) 5頁
- ・地方防衛局の新設
(防衛省設置法等の一部改正) 5頁
- ・編集後記 6頁
- ・仙台防衛施設局人事異動 6頁



平成十九年度防衛施設周辺
対策補助金等実施計画

千四百万円が承認された。
事業費別の実施計画額は、次のとおりである。

仙台防衛施設局における平成十九年度防衛施設周辺対策事業の実施計画は、第一次分として、六十五億九

(単位：百万円)

(施設企画課)

事項	件数	実施計画額	備考
障害防止事業	十一	一、二六〇	
(一般)	七	一、〇二九	
(工事費)	二	一〇六	
(共同受信)	二	一一四	
騒音防止事業	一、五二三	二、二九一	
(一般)	十一	七五一	
(住宅防音)	一、五〇二	一、五四〇	
民生安定助成事業	十四	五二八	
(一般)	十三	五二二	
(防音)	一	四	
(放送受信障害)		一	
道路改修等事業	十七	一、四二二	
周辺整備統合事業	一	二八	
周辺整備調整交付金	十三	九二一	十三市町村
移転措置事業(先地整備)	二	一四一	
合計	一、五七一	六、五九四	

各項目の金額は、十百万円未満を切り捨てとしている。

平成十九年度防衛施設周辺の
生活環境の整備等に関する連
絡会議の開催

6月21日、仙台第三合同庁舎七階第三会議室において、平成十九年度防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する連絡会議が開催された。

この会議は、当局管内に所在する自衛隊関係機関の担当者と当局の担当者が一堂に会して、防衛施設周辺の生活環境の整備等に係る平成二十年度予算概算要求について協議し、緊密な調整を図ることを目的として



開催されている。

会議は、当局施設部長の挨拶に始まり、施設調整官から当局における平成二十年度予算概算要求の基本的方針について説明を行った後、施設対策第一課長及び施設対策第二課長

から概算要求事案の内容について説明が行われた。
その後、自衛隊側からの要望等について意見交換が行われ、大変有意義に会議を終了した。

(参加部隊)

- 陸上自衛隊
- 東北方面総監部
- 海上自衛隊
- 大湊地方総監部、大湊航空隊、第2航空群
- 航空自衛隊
- 北部航空方面隊、第3航空団、第4航空団、中部航空警戒管制団
- 技術研究本部
- 下北試験場

(施設企画課)

市街地訓練施設完成

陸上自衛隊大和駐屯地が管理する王城寺原演習場は、敷地面積が約46万平方メートルを有し、東北管内では最大規模の演習場です。

当演習場は明治14年に開設され、戦後は米軍が接收、昭和33年に全面返還となった後、徐々に整備拡張が行われ、現在に至っています。

近年の国内における高度な都市化・市街地化の進展により、市街地戦闘を含む多様な事態に対応する必要性が高まっており、市街地の特性を踏まえた訓練を実施するための基

盤として、市街地を模した訓練施設
の整備が急務となっていました。こ
のような状況を受けて、当演習場内
における市街地訓練施設の整備が平
成17年度から開始され、平成19年3
月末に完成したところです。



工事概要は、市街地訓練施設、い
わゆる「模擬市街地」として、短辺
方向約150m、長辺方向約190
mの敷地の全周に外柵及び門を設置
し、その中に「スーパーマーケット」、
「会社・店舗」、「銀行」及び「ホ
テル」の建物を想定した4棟（用途
に応じRC造平家建から3階建）、
構内道路等を整備し、また、管理施
設としての管理棟1棟を新設したも
のです。

今後、東北方面隊の各部隊は、防
衛の任務の遂行のため、新設された
市街地訓練施設において様々な重要

な訓練が行われることと思えます。
(建設企画課)

新規採用者の研修実施

平成19年度Ⅲ
種新規採用者(四
名)に対する初
任研修が、4月
24日から27日の
4日間、仙台局
で実施された。

局内研修では、
服務、倫理、接
遇等を通じた「期
待される公務員
を目標として」の
講義とともに、
経験豊富なベテ
ラン職員から総
務、施設及び建
設の各業務の説
明を受けた。現
地研修では、陸
上自衛隊霞目駐
屯地においてヘ
リコプターの体
験搭乗、さら
に王城寺原演習場におけるS.A.C.O
予算等で整備された施設等の見学が
行われた。



また、平成19年度Ⅱ種新規採用者
(1名)については、防衛省で実施
された防衛省I種・Ⅱ種採用者初任
研修に参加し、各種講義や体験入隊
等の研修を全国の新規採用職員と共
に共同で受講した。

新規採用者は、これらの研修を通
じてまずは防衛施設庁の職員として

の第一歩を踏み出した。彼らの若さ、
熱意そして誠実さは、防衛施設庁に
とって、さらには防衛省統合後も貴

重な財産である。今後の若き後輩の
活躍に期待したい。
(総務課)

新規採用職員の紹介



三沢防衛施設事務所
小山 育美

初任者研修を受講して
「知っておいてほしい硫黄島の話」

今回の初任者研修では、自衛隊体
験入隊や様々な方々からの講義があ
り、非常に有意義なものでした。そ
の中でも独立総合研究所の青山繁晴
先生のお話は大変興味深いものでし
た。講義後に、先生から「是非知っ
ておいてほしい」と、硫黄島につい
ての資料が配布されましたが、私に
とってこの話が今回の研修で学んだ
ことの中で最も印象深いことの一つ
になりました。

硫黄島での激戦については、本等
で知っているつもりでしたが、私は
その本当の意味を全く理解していま
せんでした。それは、負けて死ぬこ
とが分かっている状態でもなお降伏
せずに、日本兵が硫黄島で必死に戦っ

本人が生き延び、祖国を素晴らしい国に甦らせてくれると信じたから、つまり日本の未来を守るためだった、という事です。自殺やいじめ、虐待など悲しいニュースばかりの現代社会と、彼らが命と引き換えに守ったものの間にある矛盾を考えさせられました。

防衛省の職員の人として、彼らが残してくれた日本を自分たちの手でより良くしなければならぬ、という責任と使命感を感じました。この話を知る機会をいただけたことに感謝いたします。



施設企画課
浅水 沙織

初任者研修を受講して

私は、4日間の研修で多くの事を学びました。講師の方々は、各業務内容を私たちに分かりやすく説明する為に、見やすい資料や、分かりやすい話し方で丁寧に講義をしてくださいました。その中でも、総務部長の講話はとても興味深く、気軽に私たちに話しかけてくれて、仕事面や生活面での貴重なアドバイスを聞くことができました。

現地研修では、初めてへりに搭乗し、上空から仙台市の街並みや各地の駐屯地を見て回りました。天気が

少し悪く、風もあり具合が悪くなりましたが、実際にへりの離陸時の音声を聞き、騒音対策の重要性を認識することができると貴重な体験ができたので搭乗できて良かったです。

また、王城寺原演習場では、担当の方から実弾射撃移転訓練に伴う支援業務についての話を聞いたり、実際に米軍が訓練をする場所に行つて、初めて見る施設や機械に興味津々と見学することができました。

私はまだまだ勉強不足で、仕事の内容も完全には理解できてはいませんが、優しくて頼りになる上司にも恵まれ、少しずつですが職場環境に慣れながら、研修を通して学んだことを活かし、同期の仲間を大切に、努力を惜しまず仕事に励んでいきたいです。

貴重な講義や指導をしてくださった講師や自衛隊関係の方々、本当にありがとうございました。



施設管理課
鈴木 光義

初任者研修を受講して

4月24日から27日の4日間、初任者研修を受講しました。各課の業務説明から、私としても知りたかった給与、接遇、厚生、共済に関するこ

とまで説明していただき、新たな知識を得るなど幅広く学ぶことができました。

現地での研修では、自衛隊の装備等、初めて目にするものばかりで、とても驚き、また、演習場の中を見学するだけではなく、実際に霞目駐屯地からへりに乗り、上空からも飛行場、演習場など見ることができました。初めてへりに乗りましたが、景色はとても綺麗で何とも言えない感動を味わいました。また、王城寺原演習場を見学しましたが、へりとは違う感動がありました。

各課の職員による講話では、講師の方々がたくさん資料に基づき、また、ビデオやホワイトボードを使って、とても丁寧に分かりやすい説明をしてくださいましたので、たいへん興味を持ちながら聞くことができました。

この研修を通して数多くの業務説明等を拝聴するうちに、防衛省の業務の幅がいかに広いかということをつくづく感じました。

また、この貴重な研修を通して学んだことを今後の生活に積極的に役立ていくとともに、さらには、充実した日々を送れるように早く仕事に慣れるように努力していきたいと思



施設対策第二課
菊田 優一郎

初任者研修を受講して

私は4月24日から27日までの4日間にわたって新規採用職員研修を受講しました。各部署の上司の方々はとても丁寧に親しみやすく、私の所属の部課だけでなく他の部課の業務内容や公務員の使命と心構え、服務倫理等について教えて頂き、少しではありますが理解することができ、有意義なものとなりました。

現地研修は霞目駐屯地と王城寺原演習場で実施され、戦車や武器など、今までテレビなどでしか見たことがなかったものを目の当たりにでき、とても興奮しました。また、陸上自衛隊の方々から親切なサポートを受けながら、へりの搭乗を体験しましたが、少し天候が悪かったのが残念でしたが、それでも上空からの景色はとても言葉では言い表せないほど感動的なものでした。

今回の研修では多くの事を学び、今後仕事をしていく上で非常に役立つものと確信しています。また同期の人たちとの親睦も深まり、これから共に切磋琢磨しつつ頑張っていきたいです。まだ日々かららないことの連続ですが、今回の研修で得たことを生かし、上司の方々からの確かなアドバイスを参考に一つ一つ理解していきたいと思



最後になりましたが、国防の一端を担っているんだという自覚を常に持ち続け、防衛省という新体制の中で即戦力となれるよう努力していきたいと思えます。



土木課
木村 彰宏

初任者研修を受講して

4月24日から27日までの4日間にわたって研修が行われました。各課の業務内容や、公務員としての心構え、職務、論理に至る様々な講義を受け、公務員がいかに重要な役割を担っているかを改めて実感しました。その中でも、防衛施設庁は特に責任が重い仕事、かつ国民に期待されている仕事で、不安や戸惑いもあると思いますが、それ以上にやりがいと自分の可能性を十分に発揮できる仕事だと思えました。

現地研修では、霞目駐屯地でヘリに搭乗し、上空から仙台市の街並みや各地の駐屯地を見て回り、貴重な体験をすることができました。次に、王城寺原演習場では、ハワーポイントを使った講習を受け、自衛隊員がどのような場所ですといった訓練を

しているか詳しく学びました。また、自分が想像していたよりも敷地内はるかに広がったので驚きました。自衛隊の方々が良い環境の中で訓練を行うためにも、防衛施設庁の役割がいかに大切かということを実地に

4日間の短い期間ではあるものの、私はこの研修を通じて様々なことを学び、同期たちとも絆を深め合い、楽しい時間を過ごすことができました。この経験を活かし、これから先は「今」という時間を悔いが残らないように行動し、積極的に物事に取組んで行きたいと思えます。

最後になりましたが、貴重な講義や指導をくださった講師や、自衛隊関係の方々、このような研修の場を設けていただき、本当にありがとうございました。

事務所だより

在日米海軍司令官来所

5月24日、在日米海軍司令官ジェームス・ケリー少将が多忙な公務にもかかわらず当事務所に来所し、短い時間ではありましたが、三沢基地に係る諸問題等について、会談は和やかな雰囲気で行われ、同司令官から



は、引き続き米海軍三沢航空基地隊との良好な関係をお願いする旨の発言がありました。その後、当事務所正面において来所を記念して写真撮影を行い、再来を誓い当事務所を後にしました。



県内は、いよいよ新緑の季節を迎え、十和田湖をはじめ県内の各産業地は全国各地のナンバープレートを付けた車両を目にする季節となりました。

今年の県内の「さくらまつり」は暖冬の影響で開花が早まるのではないかと予想もあり、祭関係者を心配させましたが、3月、4月に寒さが戻りゴールデンウィークにあわせたように開花、満開を迎え全国的に有名な弘前さくらまつりは、25万人（まつり本部発表）の入出と

なったほか、県内各地の会場は軒並み昨年を上回り、関係者をホットさせました。
(三沢防衛施設事務所)

防衛施設行政に尽力
(三沢市長、むつ市長のご逝去)

当局管内の主要な防衛施設が所在する地方自治体の現職首長が相次いでご逝去された。

鈴木重令前三沢市長（5月1日死去）、杉山肅前むつ市長（5月31日死去）のご両名は防衛施設行政においてもたくいまれな手腕を発揮し、基地との共存共栄を図りながら防衛施設の安定的使用に尽力されました。

ここに改めてご生前のご功績に感謝を申し上げますとともに、ご両名のご冥福をお祈り申し上げます。
(総務課)

地方防衛局の新設
(防衛省設置法等の一部改正)

去る6月1日、参議院本会議で、防衛省設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律案が可決・成立しました。本法案により、施設行政をより適正かつ効率的に遂行する体制を整備するため、防衛施設庁を防衛省に統合するとともに、地方における防衛行政の拠点を確立するための地方防衛局を新設することとなります。

昭和37年の防衛施設庁発足以来、長きにわたり、関係自治体及び米軍等の理解と協力を得るために一生懸命に取り組んできたところです。9月1日からの新たな体制へ向け、現在、鋭意準備作業を行っております。引き続き、地域の実情を踏まえつつ国及び国民のための防衛行政に邁進していくこととさせていただきます。

(総務課)

編集後記

杜の都・青葉と花の季節

仙台平野は「宮城野」と呼ばれ、中世前は風雪を防ぐ木が少ないところであったようだ。その後、伊達政宗が仙台開府に当たり、屋敷林、防風林等の植林を奨励し、現在のようにながれ多く美しい町並みとなり、杜(もり)の中に都があるかのように見えることから、いつしか「杜の都」と呼ばれるようになった。

仙台三大祭りの一つである青葉まつりが5月19日、20日の二日間、行われた。伊達政宗を祀る青葉神社の神輿、豪華な山鉦十一基の巡行、そして躍動感溢れるすずめ踊り大流しを見ようと、「杜の都」の木々の青葉の下、大勢の観客が訪れた。

また、今まさに花の季節でもある。半子町の「藤」、多賀城の「ハナショウブ」、身近なところで当局が入

居している合同庁舎玄関前の「サツキ」など。花の香りと色は自然に人の心と体を癒している。



(半子町の藤)



(青葉まつり)



(庁舎玄関のサツキ)



(多賀城のハナショウブ)

仙台防衛施設局人事異動

人事発令	氏名	前職
平成19年7月1日付		
仙台防衛施設局総務部総務課厚生係長	菊田 尚輝	仙台防衛施設局施設部施設補償課漁業補償第一係長
仙台防衛施設局施設部施設補償課漁業補償第一係長	佐藤 悦夫	仙台防衛施設局総務部総務課厚生係長
仙台防衛施設局建設部建設企画課企画係長	久保瀬 琢典	那覇防衛施設局建設部建設企画課課付係長
仙台防衛施設局建設部建築課建築第二係長	西川 暢泰	熊本防衛施設支局計画課計画調整係長
熊本防衛施設支局計画課計画調整係長	江口 政利	仙台防衛施設局建設部建築課建築第二係長
那覇防衛施設局建設部建設企画課課付係長	菊地 勇治	仙台防衛施設局建設部建設企画課企画係長